

ごみ収集日カレンダーを公共施設に配置!



浅野 さち



通信

いのちと健康を守る

平成29年6月議会報告



発行者：市川市鬼高1-14-3 浅野さち

平成29年7月発行 NO.12

清掃事業について

Q 4月より収集回数の変更に伴い、ビン・カン、燃やさないごみが週1回から月2回になったことで、「よくわからない」との声が届いています。ホームページで公開されている「ごみ収集日カレンダー」は色分けされ大変見やすいのでこのカレンダーを印刷し配布するのでは出来ないか伺います。

A 市への問合せ状況もビン・カン、燃やさないごみの収集日に関するものが多いことから、市としても、「ごみ収集日カレンダー」が有効と認識しています。仮本庁舎等の公共施設にカレンダーを配置し広報、啓発に努めます。

Q 生ごみ臭への対処とごみ集積所における不適切なごみ出しの対策について伺います。

A 生ごみの発生を抑えるためには、食品ロスの削減の取組が必要であり、更に、家庭での具体的な生ごみ対策として、「水切り」の徹底、「塩を振りかける」「乾燥させたお茶やコーヒの出がらしを混ぜる」「水で1/2に薄めたお酢を掛ける」など効果がある。また、不適切なごみ出しの対策としては、パトロールの強化のほか、特に悪質で大型ごみ等の不法投棄されやすい場所については、監視カメラを設置するなどの対策をとる予定です。

悪質な収集所へ監視カメラを設置!

A

生ごみの発生を抑えるためには、食品ロスの削減の取組が必要であり、更に、家庭での具体的な生ごみ対策として、「水切り」の徹底、「塩を振りかける」「乾燥させたお茶やコーヒの出がらしを混ぜる」「水で1/2に薄めたお酢を掛ける」など効果がある。また、不適切なごみ出しの対策としては、パトロールの強化のほか、特に悪質で大型ごみ等の不法投棄されやすい場所については、監視カメラを設置するなどの対策をとる予定です。

「マンホールトイレ」設置検討!

Q

「マンホールトイレ」は下水道管渠に直結し、排泄物を直接流すため衛生的で、被災後直ちに使用でき、段差がなく、トイレ環境の確保に有効であります。設置に向けて取組を伺います。

A

避難所と下水道処理場を結ぶ下水道管渠の耐震化が課題です。現在、耐震化を進めながら「マンホールトイレ」は設置可能な避難所から関係部署と相談し整備に取組ます。